

○ 地域の実情に寄り添い、農業の発展に貢献

(千葉県富里市農業委員会 森田孝子 農業委員)

1. 農業委員会の概要

- 農業委員: 8名(うち女性2名)
- 農地利用最適化推進委員: 12名(うち女性0名)

2. 取り組みのきっかけ

- 地域の農業を次世代へ引き継ぐことの重要性を痛感し、女性ならではの視点や声を行政に届け、地域の実情に寄り添いたいと考えた。

3. 具体的な取り組みの内容

- 富里市農業委員として、平成20年から就任し、現在6期目となる。
令和3年から千葉県女性農業委員の会 印旛・香取ブロックの代表として活躍しており、現在は「千葉県女性農業委員の会」副会長を務めている。
- 農地所有適格化法人の役員として勤務し、施設栽培の西瓜、トマト、茄子、人参などを栽培。6次産業化にも取り組み、時代の変化に応じた新たな農業の形を模索しながら、次世代へ繋ぐ農業のあり方を考えている。

